

が3日、東北大への取材で判明した。教員が受験生に試験問題の内容を漏らした疑いもあり、東北大が教員や受験生らに聞き取り調査を進めている。

東北大によると8月上旬、東北大の学生が

「食品化学」を選
択したのは16人の受験
生で、全員が9月2、
3日に再試験を受け
た。最初の試験と再試
験の問題は、いずれも
東北大学院農学研究
科内で作成したとい
う。

【遠藤大志】

孤独な母、作らない

目をそらさないで

「多胎児をはぐくむ」編

5

5月下旬、名古屋市昭和区の名古屋第二赤十字病院で、双子や三つ子を育てる家族の交流会があった。企画したのは「あいち多胎ネット」。愛知県豊田市で昨年1月、三つ子の母親が生後11カ月の子の母親が死なせた事件を受け、設立された。

理事長の日野紗里亜さん(31)も三つ子の母親だ。「事件の原因は母親が孤独になったこと」と分析し、行政などさまざまな機関との連携に力を入れようとしている。新たに、双子や三つ子などがある家庭の支援に特化

芽吹き始めた支援の輪



事件現場近くの公園。テントには親子が集い、語る姿があった—愛知県豊田市で6月、細川貴代撮影

化があった。「三つ子が近所にいることを知らなかった」と振り返る公務員、安川和博さん(40)と綾子さん(38)夫妻は現場から5分ほどの所に住む。事件後、近所の和合公園で毎月1回、地域の家族や子どもたちが交流

する企画「Parklife(パークライフ)」を始めた。テントが目印で、誰もが好きな時に訪れ、自由に過ごせる。「一人一人が関心を広く持つば、関わりを増やせる。自分たちからでも、少しでも隣近所の人に手を差し伸べられる環境になればいい」

6月末に訪ねた。親子が笑顔で語り、子どもたちが元気に駆けていた。事件のあったマンションが見える。この子たちの元気な声が、孤独な育児に悩む人に届いてほしい—強く願った。

豊田市の事件の母親は行政や医療機関に度々OSを出していたが、職員らはそれを見越して、適切な支援につなげなかったことも浮かび上がった。市の外部検証委員会も「(市側に)多胎児支援の重要性が認識されて

担当しました。この連載は細川貴代が

【金森泰之】
同署は全属を鑑定し、差出人の特定などを進める。

「不道徳な行為」
テレビ朝日(11月3日)の社員を謹慎処分

ハハラ
不適
とし
社員
慎の
当職
かに
関
員は
情報
時
佐



笑顔で日本国籍を取得した
思いを語る白鵬(左) 東京
京都市豊田区の宮城野部屋で
3日、松田嘉徳撮影

に残り、後進を指導する
意向を明かしていた。
(16面に関連記事)

白鵬は同日、東京都墨
田区に在住する。白鵬は2001年春場所
所初土俵。07年夏場所後
に第69代横綱に昇進し
た。15年初場所で大鵬を
抜く最多33回目の優勝を
果たし、17年名古屋場所
で魁皇(現浅香山親方)
の歴代最多通算1047
を達成した。

【村社拓】

ご意見や情報をお寄せください。
〒453-6109名古屋市平池町4の60の12 毎日新聞
中部報道センター「目をそらさないで」取材班。メールはc.reportage@mainichi.co.jp

韓国大使館に
銃弾入り封書
東京都港区の在日韓
国大使館に銃弾のよう
な金属と発火文が入っ
た封書が送り付けられ
ていたことが3日、警
視庁麻布署などへの取
材で明らかになった。
同署や捜査関係者に
よると、封書は8月27
日に郵送で届いた。李
洙勲・前駐日韓国大使
宛てで差出人は書かれ
ておらず、妻菱一枚に
「韓国人を打っている」といった趣旨の文章が
書かれていたという。